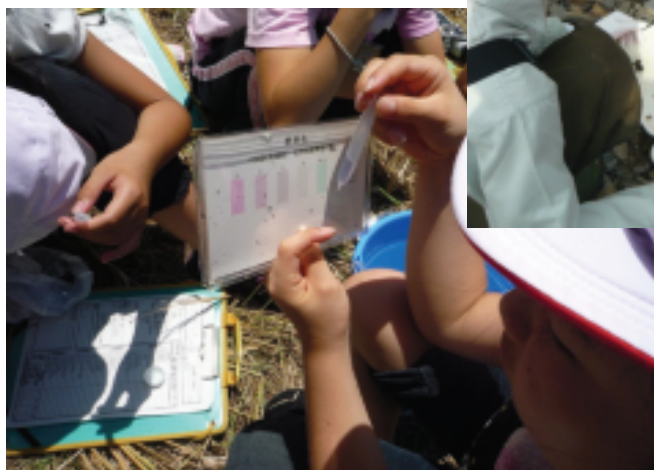


平成24年度版 川を題材とした

総合的な学習の時間 活動事例集



平成25年3月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会
岐阜県砂防協会

は じ め に

平成12年度から始まった小中学校の「総合的な学習の時間」において、川を題材とした学習に取り組む小中学校に対し、岐阜県河川課及び砂防課では、平成14年度から支援を行ってきました。

岐阜県内には豊かな森林から生み出された水が、全国有数の美しさを誇る川を通して私たち県民に様々な恩恵をもたらしてくれます。平成23年度より県では、その清流を次の世代に残すため、「魅力あふれる清流の国ぎふづくり」をスローガンに「守る」「活かす」「伝える」を3本柱とする「清流の国ぎふづくり」を全県的に進めています。

この様な背景の中、次代を担う子供たちにも川への関心を高めてもらうため、平成24年度は、身近な川とふれ合う機会を提供する場として、川を題材とした「総合的な学習の時間」に積極的に取り組んできました。

なお、この冊子は、平成24年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものです。子供たちの環境学習を進められる方々に参考としていただければ幸いです。

平成25年3月

岐阜県県土整備部次長兼河川課長 岩崎 福久

砂防課長 鈴木 金治

目 次

はじめに

目 次

1	支援活動事例・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1)	これまでの支援活動の経緯・・・・・・・・	1
2)	平成24年度支援活動一覧表・・・・・・・・	5
	山県市立高富小学校・・・・・・・・	7
	ガキッコクラブ・・・・・・・・	8
	各務原市立鵜沼第一小学校・・・・・・・・	9
	岐阜市立長森南中学校・・・・・・・・	10
	水門川の川底学習会・・・・・・・・	12
	養老町立上多度小学校・・・・・・・・	13
	大垣市立宇留生小学校・・・・・・・・	14
	池田町立池田小学校・・・・・・・・	15
	神原地区子供会・・・・・・・・	16
	大垣市立綾里小学校・・・・・・・・	17
	関市立上之保小学校・・・・・・・・	18
	関市立武儀東小学校・・・・・・・・	19
	関市立博愛小学校・・・・・・・・	20
	関市立武芸小学校・・・・・・・・	21
	関市立安桜小学校・・・・・・・・	22
	美濃市立牧谷小学校・・・・・・・・	23
	郡上市立牛道小学校・・・・・・・・	24
	郡上市立白鳥小学校・・・・・・・・	25
	郡上市立明宝小学校・・・・・・・・	26
	郡上市立和良小学校・・・・・・・・	27
	七宗町立神淵小学校・・・・・・・・	28
	川辺町立川辺西小学校・・・・・・・・	29
	御嵩町立上之郷小学校・・・・・・・・	30
	多治見市立根本小学校・・・・・・・・	31
	多治見市立昭和小学校・・・・・・・・	33

多治見市立南姫小学校	3 4
多治見市立精華小学校	3 5
多治見市立滝呂小学校	3 7
多治見市立市之倉小学校	3 8
多治見市立共栄小学校	3 9
瑞浪市立瑞浪小学校	4 0
瑞浪市立日吉小学校	4 2
瑞浪市立釜戸小学校	4 3
瑞浪市立土岐小学校	4 4
名古屋市立稲西小学校	4 5
恵那市立岩邑小学校	4 6
中津川市立田瀬小学校	4 7
下呂市立上原小学校	4 8
下呂市立萩原小学校	4 9
下呂市立竹原小学校	5 0
下呂市立尾崎小学校	5 1
高山市立宮小学校	5 2
高山市立北小学校	5 3
高山市立南小学校	5 4
飛騨市立古川西小学校	5 5
2 卷末資料	5 6
3 支援窓口一覧表	6 4

支 援 活 動 事 例

1)これまでの支援活動の経緯

岐阜県では、次代を担う子供たちに川を題材として身近な環境を体感してもらう、また、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を考えるパートナーを育もうと、平成14年度より、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組まれている学校への支援を積極的に行ってきました。

平成13年度

岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村役場職員、有識者、河川管理者等で「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」を開催し、自然学習の結果報告や今後の教育連携のあり方について意見交換し、課題や問題点をまとめ、今後の自然学習を広める方策を検討しました。

平成14年度

学校への支援活動は、8建設事務所、16市町村、小中学校19校、20学年、実施人数1,000余名、実施回数44回の支援を行いました。また、8月には指導者のための河川水質調査研修会、3月には「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム2003～これでわたしも川博士～」を開催しました。

平成15年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町村、小学校22校、23学年、実施人数1,110名、実施回数48回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を行いました。

平成16年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町、小中学校18校、26学年、実施人数約1,700名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

平成17年度

学校への支援活動は、11建設事務所、17市町、小中学校22校、27学年、実施人数約1,680名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

平成18年度

学校への支援活動は、10土木事務所、18市町、小中学校31校、33学年、実施人数約2,050名、実施回数39回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

※ 砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課所管分 17市町、小中学校27校、29学年、実施人数約1,960名、実施回数35回
砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約90名、実施回数4回

平成19年度

学校への支援活動は、11土木事務所、19市町、小中学校40校、46学年、実施人数約2,460名、実施回数54回の支援を行いました。また、8月～11月には県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 6市町、小中学校9校、10学年、実施人数約860名、実施回数15回
河川課所管分 15市町、小中学校27校、32学年、実施人数約1,490名、実施回数34回
砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約110名、実施回数5回

平成 20 年度

学校への支援活動は、11 土木事務所、21 市町、小中学校 39 校、41 学年、実施人数約 2,650 名、実施回数 48 回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課砂防課合同分 4 市町、小中学校 4 校、4 学年、実施人数約 620 名、実施回数 9 回
河川課所管分 15 市町、小中学校 28 校、30 学年、実施人数約 1,550 名、実施回数 32 回
砂防課所管分 6 市町、小中学校 7 校、7 学年、実施人数約 300 名、実施回数 7 回

平成 21 年度

学校への支援活動は、11 土木事務所、20 市町、小中学校 46 校、51 学年、実施人数約 2,940 名、実施回数 56 回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 5 市町、小中学校 8 校、10 学年、実施人数約 640 名、実施回数 14 回
河川課所管分 14 市町、小中学校 32 校、30 学年、実施人数約 2,020 名、実施回数 36 回
砂防課所管分 6 市町村、小中学校 6 校、9 学年、実施人数約 290 名、実施回数 6 回

平成 22 年度

学校への支援活動は、11 土木事務所、18 市町、小中学校 44 校、51 学年、実施人数約 2,790 名、実施回数 59 回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 3 市、小中学校 9 校、18 学年、実施人数約 230 名、実施回数 8 回
河川課所管分 15 市町、小中学校 32 校、30 学年、実施人数約 2,460 名、実施回数 47 回
砂防課所管分 4 市町、小中学校 4 校、4 学年、実施人数約 110 名、実施回数 4 回

平成 23 年度

学校への支援活動は、11 土木事務所、18 市町、小中学校 53 校、53 学年、実施人数約 3,340 名、実施回数 66 回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 3 市、小中学校 8 校、8 学年、実施人数約 200 名、実施回数 8 回
河川課所管分 16 市町、小中学校 42 校、42 学年、実施人数約 3,080 名、実施回数 55 回
砂防課所管分 3 市町、小中学校 3 校、3 学年、実施人数約 60 名、実施回数 3 回

平成24年度

学校への支援活動は、11土木事務所、22市町、小中学校45校、47学年、実施人数約3,170名、実施回数55回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 2市、小中学校6校、6学年、実施人数約324名、実施回数6回
河川課所管分 18市町、小中学校33校、34学年、実施人数約2,640名、実施回数43回
砂防課所管分 5市町、小中学校6校、7学年、実施人数約206名、実施回数6回

(参考) H24 支援校一覧

山県市立 高富小学校	2 回	神原地区子供会	1 回	郡上市立 牛道小学校	1 回	多治見市立 昭和小学校	1 回	瑞浪市立 釜戸小学校	1 回	下呂市立 尾崎小学校	1 回
ガキッコ クラブ	1 回	大垣市立 綾里小学校	1 回	郡上市立 白鳥小学校	1 回	多治見市立 南姫小学校	1 回	瑞浪市立 土岐小学校	1 回	高山市立 宮小学校	1 回
各務原市立 鶴沼第一小学校	1 回	関市立 上之保小学校	2 回	郡上市立 明宝小学校	1 回	多治見市立 精華小学校	2 回	名古屋市立 稲西小学校	1 回	高山市立 北小学校	1 回
岐阜市立 長森南中学校	2 回	関市立 武儀東小学校	1 回	郡上市立 和良小学校	1 回	多治見市立 滝呂小学校	1 回	恵那市立 岩邑小学校	2 回	高山市立 南小学校	1 回
水門川の 川底学習会	1 回	関市立 博愛小学校	1 回	七宗町立 神淵小学校	1 回	多治見市立 市之倉小学校	1 回	中津川市立 田瀬小学校	1 回	飛騨市立 古川西小学校	4 回
養老町立 上多度小学校	1 回	関市立 武芸小学校	1 回	川辺町立 川辺西小学校	1 回	多治見市立 共栄小学校	1 回	下呂市立 上原小学校	1 回		
大垣市立 宇留生学校	1 回	関市立 安桜小学校	1 回	御嵩町立 上之郷小学校	1 回	瑞浪市立 瑞浪小学校	2 回	下呂市立 萩原小学校	1 回		
池田町立 池田小学校	1 回	美濃市立 牧谷小学校	1 回	多治見市立 根本小学校	2 回	瑞浪市立 日吉小学校	1 回	下呂市立 竹原小学校	1 回		

2)平成24年度 支援活動一覧表

事務所	No.	支援校名	H23~ 継続校	分類	テーマ	実施時期・対象
岐阜	1	山県市立高富小学校	○	治水 環境	「河川改修と環境」	7月、9月・4年生
	2	ガキッコクラブ		環境	「水中生物の観察」	7月・4～6年生
	3	各務原市立鶴沼第一小学校		治水 環境	カワゲラウォッチング	7月・5年生
	4	岐阜市立長森南中学校	○	治水 環境	「川の水質や生き物を通して地域を知る」	9月、10月 ・1年生
大垣	5	水門川の川底学習会	○	治水 環境	「歩いてみよう水門川クリーン作戦」	7月・小学生
	6	養老町立上多度小学校	○	砂防 防災	「土砂災害」及び「砂防」について	10月・4年生
	7	大垣市立宇留生小学校		治水 環境	「大垣の治水を学ぶ」	12月・5年生
揖斐	8	池田町立池田小学校		砂防	土砂災害について 土石流とは 砂防えん堤の役割	4月・5年生
	9	神原地区子供会		環境	飛鳥川のいきものしらべ会 (生物調査)	7月・小中学生
	10	大垣市立綾里小学校	○	砂防 防災	杭瀬川の上流について (大津谷 砂防えん堤について)	10月・3年生
美濃	11	関市立上之保小学校	○	環境	「河川環境を学ぶ」 「防災を学ぶ」	6月・4年生
	12	関市立武儀東小学校	○	環境	「河川環境・水環境を学ぶ」	6月・4年生
	13	関市立博愛小学校	○	環境	「河川環境・水環境を学ぶ」	6月・5年生
	14	関市立武芸小学校	○	環境	「河川環境を学ぶ」	7月・3年生
	15	関市立安桜小学校	○	環境	「河川環境を学ぶ」	9月・4年生
	16	美濃市立牧谷小学校	○	環境	「河川環境を学ぶ」	6月・5年生
郡上	17	郡上市立牛道小学校		治水 防災	阿多岐ダムについて	5月・1,2年生
	18	郡上市立白鳥小学校		治水 防災	阿多岐ダムについて	6月・3年生
	19	郡上市立明宝小学校	○	環境 防災	砂防えん堤と魚道について	9月・4年生
	20	郡上市立和良小学校		砂防 防災	砂防えん堤の役割と土砂災害に対する備えについて	10月・4年生
可茂	21	七宗町立神淵小学校	○	環境	「川をきれいに」	6月・4年生
	22	川辺町立川辺西小学校		環境	「川をきれいに」	7月・5年生

事務所	No.	支援校名	H22~ 継続校	分類	テーマ	実施時期・対象
可茂	23	御嵩町立上之郷小学校		砂防 防災	「2011年9月20日に御嵩町でおきた災害について」	10月・5,6年生
多治見	24	多治見市立根本小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	5月,9月・4年生
	25	多治見市立昭和小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	5月・3年生
	26	多治見市立南姫小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	5月・4年生
	27	多治見市立精華小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	6月,10月・5年生
	28	多治見市立滝呂小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	6月・5年生
	29	多治見市立市之倉小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	6月・4年生
	30	多治見市立共栄小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	9月・4年生
	31	瑞浪市立瑞浪小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	7月・5年生
	32	瑞浪市立日吉小学校		治水 環境	「河川環境を学ぶ」	7月・5年生
	33	瑞浪市立釜戸小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	7月・5年生
	34	瑞浪市立土岐小学校	○	治水 環境	「河川環境を学ぶ」	9月・5年生
	35	名古屋市立稲西小学校		治水 環境	「河川環境を学ぶ」	10月・3年生
恵那	36	恵那市立岩邑小学校	○	環境	「ダム、災害 及び河川環境を学ぶ」	6月,7月・4年生
	37	中津川市立田瀬小学校		治水 環境	「河川環境を学ぶ」	9月・3年生
下呂	38	下呂市立上原小学校		環境 防災	カワゲラウオッチング、 土砂災害について 河川水難事故防止について	7月・4年生
	39	下呂市立萩原小学校		環境 防災	カワゲラウオッチング 河川水難事故防止について	7月・5年生
	40	下呂市立竹原小学校	○	環境 防災	カワゲラウオッチング 土砂災害について 河川水難事故防止について	7月・5年生
	41	下呂市立尾崎小学校	○	環境 砂防	カワゲラウオッチング 土砂災害について 河川水難事故防止について	8月・4年生
高山	42	高山市立宮小学校	○	治水 環境 砂防	カワゲラウオッチング及び豪雨 時の避難について	5月・5年生
	43	高山市立北小学校		治水 環境 砂防	カワゲラウオッチング及び河川 の危険性や砂防について	6月・4年生
	44	高山市立南小学校	○	治水 環境 砂防	カワゲラウオッチング及び豪雨 時の災害について	7月・4年生
古川	45	飛騨市立古川西小学校	○	環境	「身近な河川環境」	5月,6月,7月 ・4年生

支援学校名	山県市立高富小学校	担当教員名	村瀬先生	対象学年・人数	4年生 75名
実施日	7月12日(木)・9月28日(金)		実施場所	石田川(高富小学校)	
テーマ	「河川改修と環境」 石田川を題材に、今昔や環境について学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
学習内容①：河川改修と環境を学ぶ 当方で石田川の今昔、工事の必要性や環境に配慮した施工などを説明し、河川工事の是非について意見を出し合った。			学習内容②：河川環境(石田川の水質を知る) CODのバックテストを行い、石田川の水が、他の河川や水路の水と比べてどうだったのかをグループごとにとりまとめて発表した。		
					
学習内容③：河川環境(石田川の水質を知る) CODバックテストの様子。			学習内容④：		
					
【学習結果と考察】 - 昔と比べ、石田川周辺の土地利用及び環境の変化がわかった。 - 石田川の水質は、他の河川に比べあまりきれいでない。以上より、河川改修も必要であるが、環境に配慮した工事を実施することが望ましい。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 - 学校側で、事前に石田川について学習していたため、河川改修の是非について活発に意見がなされた。 - 時系列で航空写真を見せることにより、周辺環境の変化が分かるようにした。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：瀬藤 友則	電話番号(内線)	2778	

支援学校名	ガキッコクラブ	担当教員名	福田指導員	対象学年・人数	4～6年生 20名
実施日	7月22日(日)		実施場所	根尾川(谷汲山大橋キャンプ場)	
テーマ	「水中生物の観察」 カワゲラウォッチングを行い、郷土の環境を考える。	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関	本巣市教育委員会		
学習内容①：カワゲラウォッチング 当日は増水していたため、当方で根尾川の生物を採取し説明を行った。			学習内容②：水質検査 CODのバックテストを行い、根尾川の水質がどうかを調べた。		
					
学習内容③：			学習内容④：		
【学習結果と考察】 ・水生生物や水質テストにより、郷土の川（根尾川）はきれいであることが確認できた。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・根尾川のような川幅が広く、流域が大きい河川でのカワゲラウォッチングは、降雨により高い水位が続いたり、流れの変化が大きいので注意が必要である。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：瀬藤 友則	電話番号（内線）	2778	

様式①

(岐阜土木事務所 河川砂防課)

支援学校名	各務原市立鵜沼第一小学校	担当教員名	坂井先生	対象学年・人数	小学5年生 118名
実施日	7月18日(水)		実施場所	大安寺川(権現橋下流)	
テーマ	カワゲラウォッチング		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	NPO法人森と水辺の技術研究会 環境市民ネットワークぎふ	
学習内容①：川の自然環境を学ぶ 大安寺川について、その特徴を学びました。			学習内容②：大安寺川の水質を知る 大安寺川について、バックテストにより、水質を確認しました。		
					
学習内容③：川とのふれあいを学ぶ 川に実際に入って、生物を捕獲することで、川とふれあうことを体験しました。			学習内容④：大安寺川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な大安寺川に、どんな生き物が生息しているかを体感することができました。		
					
【学習結果と考察】 - ブラックバスが採取され、外来種としての位置づけなどを学ぶことができました。 - カワゲラは見つけることは出来なかったですが、絶滅危惧種であるダルマガエルを見つけることができました。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 - 大安寺川は、平常河道幅がせまい河川であるが、土羽護岸で形成されているため、水生生物も多く採取することが出来た。 - 身近な大安寺川とふれあうことで、愛着がわき、これからは大事にして行こうという意識が芽生えたと思う。 - 学習区間について、除草時期を調整し、総合学習当日に学習しやすい環境と安全確保を行った。		
備考	岐阜県自然工法管理士 3人参加				
記入者	所属：河川砂防第二係	氏名：加藤 忠士、藤原 雅司	電話番号（内線）	2778	

支援学校名	岐阜市立長森南中学校	担当教員名	大塚先生	対象学年・人数	中学1年生132名
実施日	9月21日(金)		実施場所	境川(新荒田川分流点)	
テーマ	「川の水質や生き物を通して 地域を知る」		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	NPO法人e-plus生涯学習研究所	
学習内容①：水生生物をつかまえよう 境川に入って、生き物調査を実施。 なかなか捕まえることができず、みんな一生懸命でした。 その姿に、川が汚いと感じている様子はありませんでした。			学習内容②：どんな水生生物がいるかな 境川にはどんな生き物がいたのかを調べるため、班毎に採取した生き物が何だったのか、スケッチをとったり図鑑を見比べたりしました。		
					
学習内容③：境川の水質を知る パックテストにより、境川の水質を調べました。 テストは班毎に行いました。			学習内容④：境川の特徴や危険性について 境川の生い立ちや、その特徴について説明しました。 また、川の危険性についても説明し、県が行っている事業への結びつきについて説明しました。		
					
【学習結果と考察】 - 身近な川の状態も詳しく調べると、多様であることが理解されたと思う。 - PH: 7.5 COD: 6でした。 - 子供たちは、川に入ってとても楽しそうに魚を捕まえていました。 - 子供達にとっては、境川は身近な河川でありながら、このように実際に川に入ってふれあう機会がほとんど無いようでした。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 - 身近な境川とふれあうことで、愛着がわき、これからは大事にして行こうという意識が芽生えたと思う。 - 今回は、学校側から例年よりもう少し採取エリアを広げて欲しいと要望があったので、上流側へ区間を延長しました。境川はコンクリートブロック護岸なので、昇降施設を増設して、安全を確保しました。		
備考	岐阜県自然工法管理士 3人参加				
記入者	所属：河川砂防第二係	氏名：加藤 忠士、藤原 雅司	電話番号(内線)	2778	

様式①

(岐阜土木事務所 河川砂防課)

支援学校名	岐阜市立長森南中学校	担当教員名	大塚先生	対象学年・人数	中学1年生132名
実施日	10月5日(金)		実施場所	河川環境楽園じゃぶじゃぶの河原	
テーマ	「川の水質や生き物を通して 地域を知る」		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	NPO法人e-plus生涯学習研究所	
学習内容①：水生生物をつかまえよう じゃぶじゃぶの河原に入って、水生生物の採取を行いました。人数が多いので、2回に分かれて実施しました。			学習内容②：どんな水生生物がいるかな どんな生き物がいたのかを調べるため、班毎に採取した生き物が何だったのか、スケッチをとったり図鑑を見比べたりしました。		
					
学習内容③：じゃぶじゃぶの河原の水質を知る パックテストにより、じゃぶじゃぶの河原の水質を調べました。テストは班毎に行いました。			学習内容④：河川環境楽園について 河川環境楽園について、じゃぶじゃぶの河原をもとに説明を行いました。		
					
【学習結果と考察】 ・ PH：8 COD：0でした。生徒達は、とてもきれいな水だと実感して、境川との水質の違いを感じていました。境川ももっときれいにしなければならないと感じたにちがいありません。 ・ 子供たちは、川に入ってとても楽しそうに水生生物を捕まえていました。 ・ カワゲラなど、きれいな水でしか生息しない生物を捕まえて、水質が良いことをさらに実感していました。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 市街地に住む子供達でも、きれいな水質の環境を提供出来る場所は大変効果があると感じました。 ・ 身近な境川との水質の違いを感じ、もっときれいにしなければならないという、願いを持っていただいて、大人になってもこの気持ちを持ち続けてほしいと思います。		
備考	岐阜県自然工法管理士 3人参加				
記入者	所属：河川砂防第二係	氏名：加藤 忠士、藤原 雅司	電話番号（内線）	2778	

支援学校名	水門川の川底学習会	担当教員名	一	対象学年・人数	小学生 79名
実施日	7月29日(土)		実施場所		水門川(貴船広場周辺)
テーマ	「歩いて観よう水門川クリーン作戦」 水門川の現状や環境等を学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関	水門川クリーン作戦実行委員会		
学習内容①：水門川の生態を学ぶ		学習内容②：水門川の環境を学ぶ			
水門川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。		現状の水門川がどのような状態であるか、ゴミを拾うことにより環境を保つことができることを学ぶことができた。			
					
学習内容③：水生生物を学ぶ(1)		学習内容④：水生生物を学ぶ(2)			
水生生物の捕獲方法や各種生物の居場所を知り、どのような生物がどのくらい生息しているのかを学ぶことができた。		水生生物の名前や種類を知り、体型や特徴等を学ぶことができた。			
					
【学習結果と考察】 水門川は、ウキゴリ、カマツカ、モクズガニ、ナマズ、スナヤツメ、ボラ、フナ、ウグイ、コイ、ヨシノボリ、オイカワなどの在来種が多くみられたほかに、アメリカザリガニなどの外来種も見られた。 以上のことから、水門川は多種多様な生物が生息し、良好な河川環境であると考えられる。		【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 子どもたちは、川の中に魚がたくさんいることに驚いていた。また、ボラがいたことにより海と繋がっていると改めて感じていた。魚以上にゴミが多いことにも驚いていたため、ハリヨがすめるようなきれいな川にしなければいけないという環境についての興味をもつようになった。 環境学習へと導きたい。			
備考	岐阜県自然工法管理士 17人参加				
記入者	担当：河川砂防第一係	氏名：古田 清	電話番号(内線)	368	

支援学校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	西村先生	対象学年・人数	4年生 34名
実施日	10月30日(火)		実施場所	小倉谷(床固工、護岸工)	
テーマ	「土砂災害」及び「砂防」について		分類	治水・環境・ 砂防 ・ 防災	
			連携機関	養老町建設課	
学習内容①：土砂災害と砂防について 土砂災害には、「土石流」「がけ崩れ」等があることや、その発生原因や規模を知ること、土砂災害から身を守る方法を学んだ。			学習内容②：地元の特徴を学ぶ 当地域は、養老山系の扇状地に位置し、小倉谷が家や道路より高い所を流れていること、また、今年、西濃地域で土砂災害が実際起きていることを知った。		
					
学習内容③：砂防施設の役割について(模型実験) 模型を使うことにより、砂防えん堤や土砂崩壊を防止する擁壁の機能を体験することができた。			学習内容④：砂防施設の役割について(現地見学) 現地見学を行い、見て触れることで砂防施設の役割を実感することができた。		
					
【学習結果と考察】 ・ 教室では、スライドを見ることにより「土砂災害」が身近に起きていることや、その恐ろしさを学んだ。 ・ 模型実験では、砂防施設があると家や橋が流されないこと、現地見学では、砂防施設の役割を学んだ。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 一方的に説明するのではなくクイズ・質問形式を取り入れ、児童自ら考える機会を取り入れた。 ・ 土石流の動画を見せると児童は驚きの声を上げていた。 ・ 毎年、4年生を対象に学習を行うことにより、児童を通じて地域住民が「土砂災害」「砂防」について理解してもらうことを期待している。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1名参加				
記入者	所属：河川砂防第二係	氏名：森 光正	電話番号(内線)	375	

支援学校名	大垣市立宇留生小学校	担当教員名	伊藤先生	対象学年・人数	5年生105名
実施日	12月12日(水)		実施場所	校内	
テーマ	「大垣の治水を学ぶ」 大垣土木管内の河川を事例とした 治水を学ぶ		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：水害を学ぶ 水によって起こされるおそろしい災害について、氾濫、洪水、 とはどのようなものを学ぶことが出来た			学習内容②：過去の水害を学ぶ 大昔から最近までの水害を写真を見ながら学び、水の怖さを 学ぶことが出来た		
					
学習内容③：治水を学ぶ 洪水を防ぐ掘削、築堤、ダム、放水路、遊水池、背割堤、陸 間、排水機場等、具体的な方法を学ぶことが出来た			学習内容④：杭瀬川の河川改修を学ぶ 現在の杭瀬川の整備計画や河川改修工事について学ぶこ とが出来た		
					
【学習結果と考察】 子どもたちは既に河川の治水について授業で習ったことが あることから「ヨハネス・デ・レーケ」という言葉が途中で 飛び出した場面もあり、地元の河川について関心があるよう だった。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・パワーポイントを使用して写真や絵図を見せながら、子 どもたちにわかりやすく話すように工夫した。 ・学校側で既に河川改修の学習をしていただけたおかげで スムーズに進めることが出来た。 ・治水教育へと導きたい		
備考	岐阜県自然工法管理士 2人参加				
記入者	担当：河川砂防第一係	氏名：古田 清	電話番号（内線）	368	

支援学校名	池田町立池田小学校	担当教員名	野下先生	対象学年・人数	5年生 72名
実施日	4月25日(水)		実施場所	大津谷(池田町)	
テーマ	土砂災害について	分類	治水・環境・ 砂防 ・防災		
	土石流とは 砂防えん堤の役割	連携機関	池田町建設課		
学習内容①：日本列島の特徴について 日本(住んでいるところ)のもつ特徴についてパネルを使って説明を行った。 自然災害の多さや怖さを学んだ。			学習内容②：土砂災害について 土砂災害についてパネルを使って説明を行った。 大雨時の危険な場所はどのようなところかを学んだ。		
					
学習内容③：土石流について 土石流災害について、模型を使って説明を行った。 砂防施設の役割について学んだ。			学習内容④：砂防えん堤の役割 平成20年の災害について説明を行い、砂防えん堤の役割や、実際のえん堤の規模、工事の方法などを説明した。 住んでいる地域がこのような施設で守られていることが解った。		
					
【学習結果と考察】 ・土砂災害についてどのように発生するか、どんなところに危険があるかを学んだ。 ・砂防施設の効果や役割について学んだ。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・住んでいる地区から見える山のなかにこのような大きな施設があることについて改めて確認し、その役割を理解することが出来た。 ・パネルや模型があった為スムーズに説明できた。		
備考	岐阜県自然工法管理士 3人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：渡辺 忠司	電話番号(内線)	341	

支援学校名	(揖斐川町谷汲小中学校) 神原地区子供会	担当教員名	—	対象学年・人数	小中合同 11名
実施日	7月24日(火)		実施場所	飛鳥川	
テーマ	飛鳥川にいきものしらべ会 (生物調査)		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	揖斐川町谷汲振興事務所 河川工事を考える会	
学習内容①：飛鳥川に住む生物を採取 飛鳥川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の中での歩き方や危険な箇所を理解し、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことが出来た。			学習内容②：飛鳥川に住む生物を採取 小学生低学年の子供たちは実際に川に入り、水温や河床の状況などを実感し、どんな水生生物がいるのかに興味を持ってもらう事ができた。		
					
学習内容③：種類ごとに仕分け 川で採取した水生生物を同じ種類ごとに仕分けを行った。			学習内容④：生物について教えてもらう 岐阜県希少生物保護推進員の先生から飛鳥川に住む生物や谷汲に住む生物、また希少生物の話などを聞いた。水質の話も聞いた。		
					
【学習結果と考察】 - カワヨシノボリ、アブラハヤ、タカハヤなどの魚類を採取することが出来た。 - トンボの幼虫などもたくさん採取できた。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 - 今回は夏休み期間中での実施となったことから、小学校の学年単位では不可能であった為、地区の子供会に参加を呼びかけ実施することが出来た。 - 河川内も危険な場所がない箇所を選定して行った為、小学生低学の子も、川での生物採取時は元気よく生き生きとしていた。		
備考	岐阜県自然工法管理士 3人参加 岐阜県希少生物保護推進員				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：渡辺 忠司	電話番号（内線）	341	

支援学校名	大垣市立綾里小学校	担当教員名	三輪先生	対象学年・人数	3年生 34名
実施日	10月23日(火)		実施場所	大津谷(池田町)	
テーマ	杭瀬川の上流について (大津谷 砂防えん堤について)		分類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 防災	
			連携機関		
学習内容①：杭瀬川の上流について 杭瀬川の源流となる池田山に登り、高さや周辺の環境など子供たちが住んでいる大垣市内との違いを学んだ。			学習内容②：自然災害について 東日本大震災や台風12号での豪雨による三重県和歌山県の被害を例にあげ、自然災害の恐ろしさを学習した		
					
学習内容③：土砂災害について 杭瀬川の上流についても土砂災害があり土砂災害の恐ろしさや、「わたしたちにできること」として危険な箇所へ近寄らないことを伝えた。			学習内容④：砂防えん堤の役割 砂防えん堤の役割について模型を使って学び砂防の事業(仕事)を学んだ。		
					
【学習結果と考察】 ・ 小学3年生であったことから砂防えん堤の役割については、模型で紹介したところ興味深く見ていた。 ・ 住んでいる地区の川がどこから流れてきているか、上流部は急な山であることを認識してくれた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 砂防えん堤の高さや長さなど大きさを表現するのも、何かと比較するほうが、低学年には解りやすい。 ・ 砂防えん堤まで徒歩で登った為、若干説明時には疲れていた様子であった。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防課係	氏名：渡辺 忠司	電話番号(内線)	341	

支援学校名	関市立上之保小学校	担当教員名	木島先生	対象学年・人数	4年生 9名
実施日	6月7日(木)、6月28日(木)		実施場所	津保川(和田野橋下流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」「防災を学ぶ」 津保川の水質について学ぶ、防災意識の向上を図る		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：指標生物から津保川の水質を学ぶ カワゲラウォッチングにより、採捕した生物の個体を特定し、名称を知るとともに、それら生物を指標とし、津保川がどのくらいきれいかを学んだ。			学習内容②：パックテストから津保川の水質を学ぶ パックテストにより、津保川で採水した水のCODを調べ、どの種類の魚が住むことができる川かを学んだ。		
					
学習内容③：家庭排水の川の水質への影響を学ぶ ジュースやみそ汁などのCOD検査を行い、魚が住める水に戻すには、きれいな水がどのくらい必要かを学んだ。			学習内容④：増水時の怖さ、防災を学ぶ 防災学習用パワーポイントと実際の異常出水の映像により、増水時の怖さ、その時にどのような対応、行動をすべきかを学んだ。		
					
【学習結果と考察】 ・ ヒラタカゲロウ、カワゲラ、ヘビトンボ、サワガニなど、I(きれい)の指標生物を中心に数多くの水生生物が確認できた。 ・ ジュースやみそ汁、しょうゆのCODと川の水のCODとを比較することで、そのまま川に流すことは、どれほど水生生物、魚類に影響を与えるかを学ぶことができた。 ・ 防災学習では、実際に他県で起こった異常出水の映像を見せることで、増水時の怖さ、その時の対応、行動を学ぶことができた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 指標生物を見つけ、分類した後は、学校で事前に作成した分類ペーパーに、結果をまとめるなど、川の水質に対する子供たちの意識の高さを感じられた。 ・ きれいな水にほんの少しジュースが混入しただけでも、CODが跳ね上がるとの結果は、子供たちに驚きを与えるもので、環境意識の向上には効果的であると感じた。 ・ 異常出水などの実際の映像を目で見せることが、防災教育には、効果的であると感じた。		
備考	子ども達からお礼の手紙をいただきました。【巻末資料56頁掲載】 岐阜県自然工法管理士 5名参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：遠藤協一・奥原常志	電話番号(内線)	323	

支援学校名	関市立武儀東小学校	担当教員名	武藤先生	対象学年・人数	4年生 15名
実施日	6月14日(木)		実施場所	津保川(武儀倉川合流点)	
テーマ	「河川環境・水環境を学ぶ」 パックテストにより津保川の水質について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関			
学習内容①：河川水の採取 子ども達自身が津保川に水を採取に行き、水温や流れの速さなどの川の様子を肌で感じる事ができた。			学習内容②：パックテストから津保川の水質を学ぶ パックテストにより、津保川で採水した水のCODを調べ、どのような魚が住むことができる川かを学んだ。		
					
学習内容③：家庭排水の川の水質への影響を学ぶ 子供たちが家庭から持ち寄ったお米のとぎ汁やみそ汁などのCOD検査を行い、川の水と比較することで、魚が住める水に戻すには、どのくらいきれいな水が必要かを学んだ。					
					
【学習結果と考察】 - この地域の津保川のCOD値は、0～2程度と低く、アマゴやイワナが住めるほどの環境であることが確認できた。 - みそ汁やお風呂の残り湯などのCODと川の水のCODとを比較することで、そのまま川に流すことは、どれほど水生生物、魚類に影響を与えるかを学ぶことができた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 - お米のとぎ汁などと川の水のCOD値を比較することは、子供たちにとって分かりやすいものであり、河川環境の関心を高めるためには、効果的であると感じた。 - 本校は、今回の調査とあわせて、長良川の源流や河口に実際に行き水質を調査し、川の上下流一連の水質の変化を学ぶ計画としており、学習成果が楽しみである。 - 今後は、防災学習などを行い、防災意識の向上へと導きたい。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：遠藤協一・奥原常志	電話番号(内線)	323	

支援学校名	関市立博愛小学校	担当教員名	野口先生	対象学年・人数	5年生 37名
実施日	6月29日(金)		実施場所	武儀川(博愛歩道橋下)	
テーマ	「河川環境・水環境を学ぶ」 カワゲラウォッチング、パックテスト により武儀川の水質について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関			
学習内容①：武儀川の生態を学ぶ カワゲラウォッチングにより、採捕した生物の個体を特定し、名称を知るとともに、身近な武儀川のどんな場所にどのような生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：指標生物から武儀川の水質を学ぶ 生息が確認された生物を指標とし、どのくらいきれいな川に生息する生物かを確認することで、武儀川の水質を学んだ。		
					
学習内容③：パックテストから武儀川の水質を学ぶ パックテストにより、武儀川で採水した水のCODを調べ、どの種類の魚が住むことができる川なのかを学んだ。			学習内容④：家庭排水の川の水質への影響を学ぶ 水道水やジュース、みそ汁などのCOD検査を行い、川のCOD値と比較することで、ジュースや空き缶を川に捨てると、魚や水生生物にどれ程の影響があるかを学んだ。		
					
【学習結果と考察】 - カワゲラ、ヘビトンボ、ヒラタドROMシなど、10種類程度の水生生物が確認され、子供たち自身の水質階級判定では、Ⅰ(きれい)とⅡ(少しきたない)であった。 - 一方でタニシやヒルなど、汚れた水質を好む生物も見つかり、子供たちは困惑していた。 - ジュースやみそ汁などのCOD値は、おおよそ数千～数万となり、空き缶の中に付着したジュースが流れ出すだけでも、どれほど水生生物、魚類に影響を与えるかを学ぶことができた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 - きれいな水にほんの少しジュースが混入しただけでも、CODが跳ね上がるとの結果は、子供たちに驚きを与えるもので、環境意識の向上には効果的であると感じた。 - 一方で、下水道整備が進んでいる現在において、家庭排水がそのまま川に流れるわけではなく、家庭排水の影響と川の汚れの関係をわかりやすく説明することに苦慮した。		
備考	岐阜県自然工法管理士 4人参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：遠藤協一・奥原常志	電話番号(内線)	323	

支援学校名	関市立武芸小学校	担当教員名	桜井先生	対象学年・人数	3年生 24名
実施日	7月5日(木)		実施場所	武儀川(一色橋下)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングにより武儀川の水質について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：カワゲラウォッチングを学ぶ			学習内容②：武儀川の生態を学ぶ		
川に入って、水生生物の採取を行うことで、川で注意する点を学ぶとともに、どんな場所に生物が生息しているかを体感した。			採取した生物の個体を特定し、名称を知るとともに、身近な武儀川に、どんな生物が生息しているかを学んだ。		
					
学習内容③：指標生物から武儀川の水質を学ぶ			学習内容④：身近な武儀川を知る		
生息が確認された生物を指標とし、どのくらいきれいな川に生息する生物かを確認することで、武儀川の水質を学ぶとともに、実際に水生生物に触れることで、生物に対する理解を深めた。			武儀川の水質はどうであったか、これから川をどのようにしていきたいか、児童の思いを発表した。		
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
- カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボなどの水質階級Ⅰ(きれい)に属する水生生物が数多く確認され、子供たちは、武儀川は思っていた以上に「きれい」と喜んでいた。 - 今回のカワゲラウォッチングには、サポートとして保護者の方も多く参加され、子供たちと一緒に、武儀川の水質、環境について再認識されていた。			武儀川は、学校のすぐ近くを流れる慣れ親しんだ川であるが、川に入って生物を捕まえるという体験は初めての子が多かったようで、いきいきとしていた。 今回のように、親と子が協働してカワゲラウォッチングを行うことは、子供を通じて大人が河川環境に意識を向けるよい機会になるものと感じた。		
備考	岐阜県自然工法管理士 4人参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：遠藤協一・奥原常志	電話番号(内線)	323	

支援学校名	関市立安桜小学校	担当教員名	石木先生	対象学年・人数	4年生 77名
実施日	9月28日(金)		実施場所	関川(春日橋上流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチング、パックテスト により関川の水質について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関	関市		
学習内容①：関川の生態を学ぶ カワゲラウォッチングにより、採取した生物の個体を特定し、名称を知るとともに、身近な関川に、どんな生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：指標生物から関川の水質を学ぶ 生息が確認された生物を指標とし、どのくらいきれいな川に生息する生物かを確認することで、関川の水質を学んだ。		
					
学習内容③：パックテストから関川の水質を学ぶ パックテストにより、関川で採水した水のCODを調べ、どのような魚が住むことができる川なのかを学んだ。			学習内容④：家庭排水の川の水質への影響を学ぶ 水道水やジュース、みそ汁などのCOD検査を行い、川のCOD値と比較することで、ジュースや空き缶を川に捨てると、魚や水生生物にどれ程の影響があるかを学んだ。		
					
【学習結果と考察】 - 川の環境や採取時期の影響もあるせいか、見つかる水生生物の種類は少なく、大半がヒラタドROMシであった。 - また、ヒルなど、汚れた水質を好む生物も見つかり、子供たちの判定では、Ⅱ(少しきたない)、Ⅲ(きたない)であった。 - ジュースやみそ汁などのCOD値は、おおよそ数千～数万となり、空き缶の中に付着したジュースが流れ出すだけでも、どれほど水生生物、魚類に影響を与えるかを学ぶことができた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 - 見つかる水生生物の種類は少なかったが、子供たちは時間を惜しんで川虫探しており、終始いきいきと活動していた。 - ジュースやみそ汁、しょうゆの1000倍希釈水と川の水のCOD値を比較し、ほぼ透明の希釈水の中でも魚は生きられないことを伝えると驚きの声があがった。 - 子供たちには、このような比較が効果的であると感じた。		
備考	岐阜県自然工法管理士 4人参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：遠藤協一・奥原常志	電話番号(内線)	323	

支援学校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	中田先生	対象学年・人数	5年生 19名
実施日	6月6日(水)		実施場所	板取川(蔵生大橋上流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチング、パックテスト により板取川の水質について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・防災		
		連携機関			
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 板取川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方や川での注意事項等について学んだ。また、川の冷たさ、川底の石の凹凸を体感することができた。			学習内容②：板取川の生態を学ぶ 採捕した生物の個体を特定し、名称を知ること、身近な板取川にどんな生物が生息しているかを学んだ。		
					
学習内容③：指標生物から板取川の水質を学ぶ 生息が確認された生物を指標とし、どのくらいきれいな川に生息する生物かを確かめることで、板取川の水質を学んだ。			学習内容④：パックテストから板取川の水質を学ぶ パックテストにより、板取川で採水した水のCODを調べた。また、指標生物による判定結果とパックテスト結果を取りまとめ、結果発表を行った。		
					
【学習結果と考察】 - カワゲラ、ヘビトンボ、ヒラタドロムシなど、10種類程度の水生生物が確認され、子供たち自身の水質階級判定では、Ⅰ(きれい)とⅡ(少しきたない)が多かった。 - パックテストでは、COD：4程度であった。 - これまでの子供たちの認識では、板取川は非常にきれいとのことであったが、今回の総合学習により、より具体的に板取川の水質状況が把握できたものと思われる。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 - 総合学習の時間は限られていたが、川虫を見つけ出し、水質階級判定を自ら行うなど、一定の成果が得られたものと思われる。 - 川の水質を漠然とではなく、指標生物、パックテストを通じ、定量的に把握することは、河川環境に対する子供たちの意識を高めるうえで効果的であった。		
備考	学習内容を記載した学級通信と教室内に掲示されたパネルのデータをいただきました。 【巻末資料 57 頁掲載】 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：遠藤協一・奥原常志	電話番号(内線)	323	

支援学校名	郡上市立牛道小学校	担当教員名	松井・野田先生	対象学年・人数	1,2年生 21名
実施日	5月16日(水)		実施場所	阿多岐ダム	
テーマ	阿多岐ダムについて ＝ようこそ あたぎだむへ＝		分類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 防災	
			連携機関		
学習内容①：他人との挨拶、会話を通じてコミュニケーションを経験 挨拶、話の聞き方、会話を通じて、生徒と土木職員間でのコミュニケーションを経験してもらえた。			学習内容②：約束やマナーを守り、集団生活の楽しさを体験 施設見学時の注意事項を説明し、実際生徒も理解してもらえたため、生徒・土木職員がともに楽しく見学会を実施できた。		
					
学習内容③：阿多岐ダムのはたらきについて学ぶ 小学低学年向けの資料、過去の洪水被害の写真などにより阿多岐ダムのはたらきを説明したところ「ダム下流での生活を守ってくれている」ことを認識してもらえた。			学習内容④：阿多岐ダムの内部など施設を見学 堤体からダム湖をみてダムの規模の大きさや堤体内部に入り、温度差など堤体内・外部での違いを実感してもらえた。		
					
【学習結果と考察】 - 今回の対象生徒が小学1,2年生ということもあり、学校側からの要請で、まずダム見学を通じて「コミュニケーションの経験」、「マナーを守って集団生活の楽しさを体験」という課題は、子供たちの反応を見る限り、達成できた。 - 低学年向けの説明により、学校の身近にある阿多岐ダムが自分たちの生活をまもっているということを認識してもらえた。 - 通常入ることのできない堤体内部に入り、ダムの大きさを実感してもらえた。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 - 小学1,2年生が対象であり、ダムの機能を説明する上で、資料作成、用語の使用について苦労した。ただ、学校からの要請でもあった「コミュニケーションの経験」、「マナーを守って集団生活の楽しさを体験」は一定の効果があつたと考える。 - 生徒たちが阿多岐ダムが洪水から下流を守っていることを認識できたとともに、ダムのスケールの大きさを実感することで、一定の効果があつたと考える。		
備考	5月2日(金)牛道小学校で事前打ち合わせ。5月8日(火)牛道小学校教員と現地で打合せ 岐阜県自然工法管理士 2名参加				
記入者	所属：河川砂防第一係	氏名：栗田、荒引、伊藤	電話番号（内線）	344	

支援学校名	郡上市立白鳥小学校	担当教員名	小島先生	対象学年・人数	3年生 44名
実施日	6月26日(火)		実施場所	阿多岐ダム	
テーマ	阿多岐ダムについて ＝ようこそ あたぎだむへ＝		分類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 防災	
			連携機関		
学習内容①-1：阿多岐ダムのはたらきを認識する。 小学中学年向けの資料、過去の洪水被害の写真などにより阿多岐ダムのはたらきを説明したところ「ダム下流での生活を守ってくれている」ことを認識してもらえた。			学習内容②-1：阿多岐ダムのスケールを体感する。 堤体からダム湖をみてダムの規模の大きさや堤体内部に入り、温度差など堤体内・外部での違いを実感してもらえた。		
					
学習内容①-2：阿多岐ダムのはたらきを認識する。 小学中学年向けの資料、過去の洪水被害の写真などにより阿多岐ダムのはたらきを説明したところ「ダム下流での生活を守ってくれている」ことを認識してもらえた。			学習内容②-2：阿多岐ダムのスケールを体感する。 堤体からダム湖をみてダムの規模の大きさや堤体内部に入り、温度差など堤体内・外部での違いを実感してもらえた。		
					
【学習結果と考察】 ・ 中学年向けの説明により、学校の身近にある阿多岐ダムが自分たちの生活をまもっているということを認識してもらえた。 ・ 通常入ることのできない堤体内部に入り、ダムの大きさを実感してもらえた。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 生徒たちが阿多岐ダムが洪水から下流を守っていることを認識できたとともに、ダムのスケールの大きさを実感することで、一定の効果があったと考える。		
備考	6月6日(水)牛道小学校で事前打ち合わせ。 岐阜県自然工法管理士 2名参加				
入者	所属：河川砂防第一係	氏名：栗田、荒引、伊藤	電話番号（内線）	344	

支援学校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	寺脇先生	対象学年・人数	4年生 15名
実施日	9月26日(水)		実施場所	教室・吉田川(上坂本えん堤)	
テーマ	砂防えん堤と魚道について ＝郡上市明宝の上坂本えん堤＝		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：砂防えん堤と魚道について学ぶ 現地に向かう前に、教室にて砂防えん堤の必要性和魚道についての学習を実施。活発な質問や意見がありました。			学習内容②：えん堤天端から魚道の様子を観察 砂防えん堤の天端にのぼり、えん堤の大きさや魚道の様子を上から観察しました。		
					
学習内容③：魚道の中の様子を観察 観察窓や箱めがねで、魚道の中の様子を観察。 「お魚いるかなあ？」			学習内容④：魚道のしくみを学ぶ 魚道のしくみについてパネルをつかって説明しました。 「ぐるぐる回りながら上っていくんだあ。」		
					
【学習結果と考察】 ・ 学校の身近にある川に多くのえん堤と魚道があることを子供たちは再確認できた。 ・ 土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を再認識しました。 ・ 魚道の構造を知ること、魚がどのようにして遡上しているのか、魚の道が川の下流から上流まで繋がっていることなどを理解することができた。 ・ 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることを理解できた。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 事前に映像を使って土石流の様子を見せることで川の怖さを実感し、砂防えん堤の必要性を深く理解させることができた。 ・ 移動途中のバスの中で、たくさんの砂防えん堤の存在が説明でき、これらのえん堤で自分たちの生活が守られていることを理解してもらうことができた。 ・ 子供たちに説明を行うことで魚道について、我々も深く理解することができた。		
備考	8月9日(木) 明宝小学校で事前打ち合わせ。 岐阜県自然工法管理士 1人参加 8月20日(木) 上坂本えん堤(魚道)での現場状況確認(担当教員立会) 学習後、魚道をテーマにした演劇の発表がおこなわれました。併せて感想もいただきました。 【巻末資料 58 頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防第二係	氏名：河村雅美・荒引圭俊	電話番号(内線)	341	

支援学校名	郡上市立和良小学校	担当教員名	古田先生	対象学年・人数	5年生 19名
実施日	10月24日(水)		実施場所	教室	
テーマ	砂防えん堤の役割と 土砂災害に対する備えについて	分類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 防災		
		連携機関			
学習内容①：砂防えん堤の役割について学ぶ 土砂災害のビデオにより土石流の恐ろしさと砂防えん堤の役割について学習しました。			学習内容②：土砂災害への対応について 土砂災害の前兆現象や、災害に合わないための事前に準備について学習しました。		
					
学習内容③：模型による土石流のしくみを体験 模型を用いて、土石流のしくみや砂防えん堤の効果を遊びながら体験しました。			学習内容④：		
					
【学習結果と考察】 ・ 地元を流れる河川でも、大雨などで土石流が発生することを子供たちが認識した。 ・ 土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を学習した。 ・ 模型実験を通じて土石流の影響と砂防えん堤の効果を理解することができた。 ・ 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることや土砂災害に対して日ごろからの備えが大切であることが理解できた。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 土石流の映像や模型実験により川の怖さを実感し、砂防えん堤の必要性を深く理解させることができた。 ・ 土砂災害に対して、日ごろから備えておくべき事柄について理解してもらえた。 ・ 子供たちに説明を行うことで、土砂災害に対する地域防災の大切さについて再認識でき、防災に繋がる砂防事業の進め方を理解することができた。		
備考	8月29日(水)、10月17日(水) 和良小学校で事前打ち合わせ。 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防第二係	氏名：河村雅美・荒引圭俊	電話番号（内線）	341	

支援学校名	七宗町立神淵小学校	担当教員名	谷川先生	対象学年・人数	4年生 18名
実施日	6月29日(金)		実施場所	神淵川(神淵小学校前)	
テーマ	「川をきれいに」 川にすむ生物や水質などを調べて、今の神淵川のすがたを知ってもらう。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	七宗町農林建設課	
学習内容①：川について学ぶ プロジェクトを用いて計17枚のスライドにより、川にすむ生物のこと、水質と生物の関係などを講義した。			学習内容②：水質を調べる CODパックテストを行い、お茶やコーヒー等が水質にどう影響するか比較するとともに神淵川の水質を調べた。		
					
学習内容③：カワゲラウォッチング 実際に学校の近くの神淵川に入って生物を採取し、どんなところにどのような生物が棲んでいるのかを学んだ。			学習内容④：カワゲラウォッチング 採取した生物の同定や分類・集計を行い、生物に対する理解を深めた。		
					
【学習結果と考察】 ・ ごくわずかの汚れであっても、水質には大きく影響することがパックテストを通じて児童にも伝わったと思う。 ・ 水質や川の性状によって住む生物が異なること等、改めて生物の多様性を印象付けられた。 ・ 生物調査において様々な生物を採取することができ、思ったよりも種類が多かったことが収穫だった。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 質問も多数寄せられ、とても積極的な姿勢が印象的だった。 ・ 自分たちが身近に親しんでいる川であっても、予習をした上で生物を捕まえるという体験は児童にとっても新鮮だったらしく、授業の有意義さを感じられた。 ・ 身近な川であっても、まだまだ興味深い面があることを伝えられたように思う。		
備考	7月7日(土) 岐阜新聞(中濃版)にて記事が掲載された。【巻末資料 59 頁掲載】 7月12日(木) 建通新聞(岐阜版)にて記事が掲載された。【巻末資料 59 頁掲載】 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料 59 頁掲載】 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加藤 一郎	電話番号(内線)	324	

支援学校名	川辺町立川辺西小学校	担当教員名	後藤先生	対象学年・人数	5年生 47名
実施日	7月10日(火)		実施場所	雄鳥川(川辺町中川辺)	
テーマ	「川をきれいに」 川にすむ生物や水質などを調べて、今の神湊川のすがたを知ってもらう。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	川辺町産業環境課 NPO法人「森と水辺の技術研究会」	
学習内容①：川について学ぶ			学習内容②：水質を調べる		
事前にNPO法人「森と水辺の技術研究会」の野村典博氏から、水の循環や森・川・海のつながり等について講義を受けた。(県の講師派遣事業として開催。事後学習も実施した)			CODバックテストを児童自身が行い、お茶やコーヒー等が少量でもいかに水質に影響するか調べた他、雄鳥川の水質を調べた。		
					
学習内容③：カワゲラウォッチング			学習内容④：カワゲラウォッチング		
学校の近くの雄鳥川に入って生物を採取し、どんなところにどのような生物が棲んでいるのかを学んだ。			採取した生物の同定や分類・集計を行い、生物に対する理解を深めた。		
					
【学習結果と考察】 ・ パックテストを通じ、ごくわずかの汚れであっても水質が大きく影響されることが伝わったと思う。 ・ 水質や川の形状等によって住む生物が異なること等、改めて生物の多様性を印象付けられた。 ・ 生物調査では様々な生物を採取でき、種類の多さ等については児童の想像以上だった模様。 ・ 県環境生活部からの講師派遣により事前・事後学習を実施でき、より充実した内容となった。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 生物採取に際しては仲間で協力しあうシーンも見られ、様々な意味で。 ・ 自分たちが日頃親しんでいる川でも、しっかり予習し生物を捕まえることは児童にも新鮮だったようで、授業の手ごたえを感じられた。 ・ 慣れ親しんだ川でも、視点を変えればまだまだ奥深く興味を引くものだと伝えられたと思う。		
備考	子ども達からお礼の手紙を頂きました。【巻末資料 60 頁掲載】 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加藤 一郎	電話番号(内線)	324	

様式①

(可茂土木事務所 河川砂防課)

支援学校名	御嵩町立上之郷小学校	担当教員名	小栗先生	対象学年・人数	5・6年生 32名
実施日	10月29日(月)		実施場所	御嵩町立上之郷小学校	
テーマ	「2011年9月20日に 御嵩町でおきた災害について」		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関		
学習内容①：H23.9.20災害について(1) H23年度に土砂災害の被害を受けた地区の小学校において防災学習を行い、当時の状況の説明や、今後の災害への備え等について講義した。			学習内容②：H23.9.20災害について(2) プロジェクトを利用し計40枚のスライドにより講義した。当時の写真や図面を多用し、児童が理解しやすいよう配慮した。		
					
学習内容③：児童からの体験談などの発表 自分自身や家族の体験談や、そこから学んだ点などを自発的に発表してもらい、より身近でリアルな事例を共有することができた。			学習内容④：御嵩町のハザードマップ等の紹介 御嵩町の土砂災害ハザードマップや土砂災害警戒情報のパンフについて紹介し、各家庭でも活用してもらうよう呼びかけた。		
					
【学習結果と考察】 ・ 当時の写真や記事を用いて「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を進められた。 ・ 災害時の情報収集や避難方法について説明でき、児童の防災意識が高められた。 ・ 児童が自らの体験を語ることで、自身の行動や意識を再認識し今後に活かす →講義での説明と、自身の体験の振り返り、級友の発表という3つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できたように思われる。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 児童も集中して聴講しており、一定の浸透を図れたように思われる。 ・ 同校は県の防災教育モデル校に指定されており、今回の企画も適時であった。 ・ 教諭からも高い評価が得られ、今回の資料を今後の研究授業等で活用したいと申し出があった。 ・ 次年度以降も、災害が発生した地区の小学校において慣例的に実施するようにしたい。		
備考	10月31日(水) 中日新聞(可児版)に記事が掲載された。【巻末資料61頁掲載】 岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加藤 一郎	電話番号(内線)	324	

支援学校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	高野先生	対象学年・人数	4年生 120名
実施日	5月23日(水)		実施場所	大原川(新高根橋上流)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 大原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：大原川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：大原川の水質を知る		
水生生物がどのような場所にいるのか、また川の形状はどうなっているのか、どのような場所が危険なのかを実際に体験しながら学んだ。			川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。		
					
学習内容③：大原川の生態を学ぶ			学習内容④：川の危険性について		
採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。			雨が降ると川の水が急激に増えて危険であるため、雨のときは川に近づくべきではないことを学んだ。また治水の必要性についても学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 6.5 ・ 透視度 100 ・ COD 7 ・ 採取した水生生物 11種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、オナガサナエ、コオニヤンマ、ガガンボ、ヒル、カワナ			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 子供達が流速の早い所や、深い所に行かないように気を配った。 ・ 子供達は積極的に総合学習に取り組んでおり、川に対して興味をもってもらえたと思われる。 ・ 写真などを用いて自然環境を守ること大事だが護岸工も人の命や財産を守るために必要不可欠なものであることを伝えた。しかし、子供たちにも分かる言葉で説明するのに苦労した。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1名参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：松山 誠一郎	電話番号（内線）	319	